

ストレス緩和ケア看護学演習

4 単位

Seminar and Practice in Stress Coping and Palliated Care Nursing

雄西 智恵美・教授 / 保健学専攻

【授業目的】①ストレス緩和ケアに関する看護の課題について、論理的、科学的な方法により追求する方法を学習する。特に、文献を批判的に読み活用する力を養う。②①を通して、自己の研究課題と方法論の明確化に繋げる。

【授業概要】がん看護や周手術期看護、クリティカルケア看護領域において、関心のあるテーマを選択し、それに関連した研究成果や課題を考察すると共に、研究方法や論文評価方法について学習を深める。授業は、文献クリティークを中心に進めるが、選択したテーマによっては、臨床現場での演習(事例演習など)を含める。本演習は、自ら演習計画を作成して主体的に進める。

【キーワード】根拠に基づく看護、信頼性、妥当性、客観性、信憑性

【先行科目】『ストレス緩和ケア看護学特論Ⅱ』(1.0), 『ストレス緩和ケア看護学特論Ⅰ』(1.0)

【関連科目】『ストレス緩和ケア看護学特論Ⅰ』(0.5), 『ストレス緩和ケア看護学特論Ⅱ』(0.5)

【授業計画】

1. 1. ガイダンス
2. 2. 論文クリティークの意義と方法について
3. 3. ~ 6. 論文クリティーク①~④
4. 7. 自己の関心テーマに関するプレゼンテーション①
5. 8. 自己の関心テーマに関するプレゼンテーション②
6. 9. 演習計画作成と検討
7. 10. ~ 12. 論文クリティーク⑤~⑦
8. 13. 自己の研究課題・方法論のプレゼンテーション③
9. 14. 自己の研究課題・方法論のプレゼンテーション④
10. 15. ~ 20. 自己の課題学習
11. 21. 自己の研究課題・方法論のプレゼンテーション⑤
12. 22. 自己の研究課題・方法論のプレゼンテーション⑥
13. 23. ~ 28. 自己の課題学習
14. 29. 自己の研究課題・方法論のプレゼンテーション⑦
15. 30. 自己の研究課題・方法論のプレゼンテーション⑧ まとめ

【成績評価】演習計画、計画の遂行状況、プレゼンテーションなど総合的に評価

【教科書】指定無し

【参考書】随時

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217003>

【連絡先】

⇒ 雄西 (088-633-9026, conishi@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 木曜日, 17:00~)